

あさひの

2025

No.82

TAKE FREE

これからの朝日野会



Front Cover : 朝日野総合病院 (上) / 球磨病院・球磨病院介護医療院 (下)



これからの朝日野会

理事長代理兼統括院長

しみず

清水 治樹

はるき



朝日野会グループのはじまり

朝日野会グループは、熊本を拠点とする医療法人朝日野会、人吉・球磨の蘇春堂という二つの医療法人から成っています。ちなみに、私は朝日野会の理事長代理兼蘇春堂の理事長という役職と、グループ間を繋ぐ統括院長という役目を担っています。

数年前から二つのグループの統合計画があり、現在はその過渡期かつ、現・理事長から私の代となる「代わり」の時期でもあります。ようやく計画が成就することになりそうです。

詳しくは別項の年表に譲りますが、1980年に「朝日野病院」は40床で始まりました。特記すべきは、創業者である私の父、現・理

事長が医師・医療職ではなく、建設関係の株式会社を経営する経済人であったことです。経済同友会の役員（常任幹事）も務め、経済・政治の勉強会を主催し、熊本経済界ではそれなりに大きな仕事をしてきたと伝え聞きます。ちなみに、熊本地震で建物の損壊が少なかつたのも、理事長の旧職の影響も大きいかも知れません。

医師でない者が始めた病院ゆえ誤解も多く、開業当初はかなり苦労したようです。しかしながら業績が徐々に向上し、84年には医療法人の認可を受け、88年には310床に。94年に「総合病院」との名称変更が許可され、2002年には現在の378床となっています。

また、2008年には十善病院と合併、2011年には人吉・蘇春堂グループが加入。2012年には博愛会病院と合併し、2022年には十善病院と博愛会病院が一つになり、現在に至ります。

すべての病床を合わせると1088床です。全職員

で1300名近くになります。朝日野総合病院は、コンパクトながらもその名の通り「総合」であり、一つの病院で急性期の治療からリハビリ、慢性期、終末期（緩和ケア）までを通して診ることが出来る強みがあります。十善病院は178床ですが、朝日野にはない小児科も有し、地域密着型医療を展開しています。

人吉の中心に位置する球磨病院・球磨病院介護医療院はその地域医療の一端を担い、精神科である光生病院、そして球磨村診療所と、人吉・球磨地域の人々の生活を支えています。

病院グループの理念

病院グループの理念は、「愛する人を安心して任せられる病院の創造」。医療法人統合の大きな意義は、この理念をより強く共有できることにあると考えます。

大事なことは、「安心して任せること」が出来るのは、医師・看護師だけではない、ということ。当グルー

プに勤務する者すべてが「安心して任せられる」環境をより一層提供すべく、努力してもらいたいと思っています。

医療は、職種のカテゴリーでいうとサービス業です。ただし、「医療のプロ集団が行う」究極のサービス業。これは私の信念であり、理念にも繋がります。

私は2004年10月に当院に入職いたしました。昨年で20年。2024年4月から院長も野村一俊医師から清川哲志医師へタッチし、私も統括院長就任となりました。

その当時に、広報委員会からキャッチフレーズやヴィジョンなるものを聞われました。「変わらないための努力」と答えましたが、期待したものと違ったのか、あまり評判が良くない（笑）。そこで、院内向けには「オールインワンの病院」と回答しています。

ですが、「変わらない」ということは重要なことで、この地にあり、救急を診る、全身を診る総合病院であり続けるというのは、けっこ

うな労力です。繁栄というのは、常に拡大するのではなく、「変わらず、継続することであると信じます。

ご存じかも知れませんが、医療業界はかつてないほど大変な時代です。国の定める診療報酬が上がらない、入院基本料が据え置かれていた点。さらに追い打ちをかけたのがコロナ禍と「働き方改革」による減収。コロナへの国の支援も終了し、いまや6割以上の医療機関が「赤字」と言われています。

これからの朝日野会

さて、この項のテーマが「これからの朝日野会」。先に記した通り、変わらぬための努力を惜しまないようにならなければならないように思います。オールインワンと記しましたが、①病気を予防し、②治療し、退院するまで（退院してからも）③支える、という一連の流れを周囲の医療機関や介護施設と連携をとりながら、当会で可能な限り実行できればと考えています。

本邦の人口は減り続ける一方です。ですが割合として高齢者が増え、それを相対的に少数の青・壮年、中年で支えるという構図に変わりはありません。

多様な疾患を持つ高齢者の診療では、当然ながら複数の診療科が関与することになります。各専門の医師を充足させることが、患者様やご家族へのサービスに繋がります。また、看護・介護をいっそう充実させ、地域住民の社会生活が守られることが終の目的として一番大切になります。

よく医師の仕事と病院経営の両立を「大変でしょう」と言われますが、基本的に私の軸足は臨床医であり、経営は法人本部と共働いています。また、5年後・10年後・20年後の先を見据えて、医療機関の構想を練っていくことは面白くもあります。

患者様やご家族に選ばれて、「なくてはならない病院」として、また熊本地域の医療に貢献すべく尽力して参ります。

朝日野会グループの歴史



朝日野病院 開設

本館竣工



1986 東棟竣工



2000 北棟竣工



十善病院



博愛会病院 (現在は解体)

2025年4月

医療法人
蘇春堂グループ
朝日野会合併
1,088床となる

総合病院認可
朝日野総合病院となる

十善病院
朝日野会合併

博愛会病院
朝日野会合併

博愛会病院
十善病院統合

医療法人蘇春堂グループ 朝日野会加入

1877

西南の役に薩摩軍の軍医として参戦した谷口孝忠太の医療活動に始まる

1914

1960

医療法人
蘇春堂設立

1966

1974

1999



球磨病院 開設



光生病院 開設



球磨村診療所 開設

2019

人吉中央温泉病院
介護医療院 開設
(令和2年 球磨病院介護医療院に改称)



2021

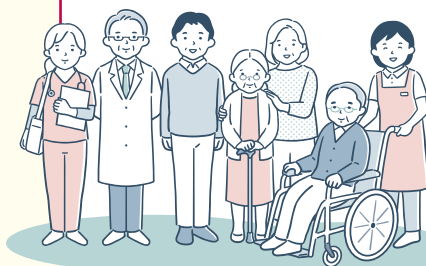
人吉記念病院
球磨病院に統合



人吉中央病院 開設 (昭和56年 人吉中央温泉病院に改称)

朝日野会「理念」

愛する人を安心して
任せられる病院の創造



人は自分自身のことよりも愛する家族や友人に心を配るもの。
そのように大切な方々の医療を引き受け、深く信頼される病院
であり続けたいと願っています。

ASAHINOKAI GROUP

十善病院

院長 山崎 洋二

本年4月より朝日野会系列となられる各医療機関の皆さん、一緒に仕事出来る事を嬉しく思います。朝日野会の医療機関が増える事で医療に必要な物品購入や医療従事者の人的交流も広範囲に可能となり、各医療機関の医療の質が確実に向上します。

十善病院は熊本市南部に立地しており、朝日野会の理念及び基本方針に則って、この地域で必要な病院となる様に、職員一同が日々鍛錬しています。今後とも宜しくお願い致します。



朝日野総合病院

病院長 清川 哲志

当院は熊本市北区唯一の総合病院として、複雑な疾患をかかえる患者さまに対し、全科が連携して包括的な医療を提供しています。

救急医療では早期の手術とリハビリテーションを導入し、苦痛の軽減と機能回復を目指しています。

呼吸器や透析が必要な患者さまの治療、難病、がん患者さまの緩和ケアにも力を入れています。

今回の法人合併で新しい連携が広がります。人材交流を深くし地域医療へ貢献を高めてまいります。



球磨病院介護医療院

院長 崎山 直樹

この度は、合併にて医療法人朝日野会系列となったことを心より喜ばしく思います。

今後は微力ながら今までの経験を生かし、これまで以上に急激に進む高齢化社会に対応し、地域医療に貢献すべく誠心誠意努力する所存でございますので、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



球磨病院

院長 曹 光男

本院は医師の谷口徹次によって、大正4年に蘇春堂球磨病院として開業以来、人吉、球磨地区の地域医療に貢献して参りました。

特にこの地域の二次救急病院の一つとして、年間約350症例の救急車搬送の受け入れ及び休日、夜間の救急患者様に対する診療を1年365日行っており参りました。

また当地区の基幹病院である人吉医療センターにおける初期診療終了後の患者様に対し、継続診療及びリハビリテーション施行の為の受け入れを積極的に行い、地域における病病・病診連携を積極的に実践しています。



球磨村診療所

院長 橋口 治

球磨村診療所は開設後26年目の現在球磨村で唯一の診療所です。外来では幅広い分野のプライマリーケアを行っており、往診や訪問診療も行っています。診療機器としてはレントゲン、超音波検査装置、上下部内視鏡があり、ウイルス肝炎に対する治療も行っています。

地元の皆様方に安心していただけるように「断らない医療」をモットーとして、頼りにされています。朝日野会との合併を機に、より良い医療を目指して行きます。



光生病院

院長 赤池 浩一

合併記念号の発刊におかれましては心よりお慶び申し上げます。当院は朝日野会において唯一の精神科・神経科病院です。おもひほか地域住民の心のケアを慮りながら日々診療を行っています。

今回の合併により、熊本県内でも有数な朝日野会の一員となれたことを光榮に存じております。

今後、朝日野会は、各地域社会を結ぶ医療法人として更なる発展を遂げるよう切望しております。





朝日野総合病院



十善病院



サービス付き高齢者向け住宅 サンあさひの



球磨病院・球磨病院介護医療院



光生病院



球磨村診療所

～ 朝日野の由来 ～

『燦々と朝日を受けて光り輝く野のように爽やかで、病める方々に温かい病院であり且つ、地域の皆様の健やかで心豊かな生活に、精一杯ご奉仕したい』という思いが込められています。



医療法人 朝日野会
朝日野総合病院

〒861-8072 熊本市北区室園町12番10号
TEL 096-344-3000 FAX 096-343-7570

